

## 2 小学校算数科の目標と各学年の目標

### 算数科の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

### 各学年の目標

	数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係
第1学年	具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。	具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。	具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。	具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。
第2学年	具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。	具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。	具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにする。	具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。
第3学年	加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。	長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。	図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。	数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。
第4学年	除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。	面積の単位と測定について理解し、図形的面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。	図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。	数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。
第5学年	整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方考え、用いることができるようにする。	三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。	平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。	数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。
第6学年	分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方考え、用いることができるようにする。	円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。	縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。	比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。